

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	家電量販店（経 営者）	販売量の動き	・ワールドカップサッカーの影響で、大型のハイビジョン、プラズマ、液晶などのテレビの売行きが好調である。
	やや良く なっている	百貨店（営業担 当）	来客数の動き	・改装後の営業時間の延長に伴い、夕方の来客数が増加している。
		乗用車販売店 （総務担当）	販売量の動き	・最近、当社から大衆コンパクトカーが発売され、大ヒット中であるが、景気が悪いなかでも良い商品が出れば、まだまだ売れる。
		住宅販売会社 （従業員）	お客様の様子	・売上も契約も例年に比べるとかなり良くなっている。業界の新聞折込チラシの枚数が少し減っているのは、競争相手も含めて売り込み先をある程度確保しているためと思われる。
		住宅販売会社 （従業員）	販売量の動き	・5月はようやく例年並みの受注量に回復した。
		住宅販売会社 （従業員）	販売量の動き	・建設リサイクル法の施行前の駆け込みの影響などにより受注は良い。
	変わらない	商店街（代表 者）	お客様の様子	・来客数は減少しているが、高級品の売行きは好調である。 ・4月からの完全学校週5日制により、子供の学力低下を心配する保護者が塾通いなどに教育費をつぎ込むため、ますます節約ムードが強くなっている。
		百貨店（営業担 当）	お客様の様子	・例年5月はシーズン商品といわれる夏物が動く時期であるが、最近客の購買態度が慎重で、ファッション性の高い一時的な商品は敬遠され、長く使える保守的な商品を選ぶ傾向が強い。
		スーパー（店 長）	単価の動き	・前年に比較して来客数は微減、客単価は伸び悩み、1人当たり買上点数は減少となっており、月間を通して大きな変化はない。
		スーパー（総務 担当）	単価の動き	・特に100円ショップなどの商品が増加する傾向にあり、一品単価が上昇しない。買上点数も増えないまま売上が減少している。
		衣料品専門店 （経営者）	お客様の様子	・客に対して商品のコーディネートを強く勧めても、単品での買上が多く、セット販売になかなかつながらない。
		乗用車販売店 （経理担当）	販売量の動き	・主力の大型セダンは市場に合致していないため苦戦しているが、モデルチェンジから日の浅いミドルクラス車や消費者ニーズに合っているミニバンの販売状況は悪くない。
		乗用車販売店 （営業担当）	お客様の様子	・新型車が登場してから来客数は増加したが、客の決断は以前より慎重になり、成約にはなかなか結びつかない。
		住関連専門店 （店長）	来客数の動き	・来客数はほぼ前年並みになっているが、日曜日などの繁忙日の来客ピーク時間帯が短くなっている。また、ピーク時間の開始が従来の午後2時から最近3時半へと遅くなっている。
		その他専門店 〔医薬品〕（営 業担当）	販売量の動き	・「どうしても必要」という気持ちを持つ必需品の購買は依然堅調である。
		観光型旅館（経 営者）	単価の動き	・宿泊料金の低下はある程度止まったが、相変わらず低料金を推移している。
		通信会社（営業 担当）	来客数の動き	・総体的に来客数が大幅に減少している。また、携帯電話の料金滞納者が増加傾向にある。
		テーマパーク （経営者）	単価の動き	・土産に対する購買力が全然変わっていない。
		設計事務所（職 員）	販売量の動き	・例年春先から引き合いが出始めるが、今年は5月からようやく動き出し、受注につながる物件も生じている。しかし、内容は小型化しており、かつ受注件数も例年に比べて減少している。
		住宅販売会社 （従業員）	来客数の動き	・春先から展示会を行っているが、5月以降増加すると期待していた来場者数が予想以上に少ない。
住宅販売会社 （従業員）		販売量の動き	・受注数は前年とあまり変わらないが、従来は月によって変動していた受注がやや安定して取れるようになってきた。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・商店街の人通りが極端に少ない。
		一般小売店〔鮮魚〕（店長）	お客様の様子	・以前、客は特売など安い商品であれば買っていたが、最近は安いからストックしておこうという考えがなく、本当に必要な物しか買わない。
		百貨店（売場主任）	単価の動き	・来客数は多いが、客の購入する一品単価が年々低下している。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・5月の買上客数は前年同月の98%で推移している。
		スーパー（店長）	単価の動き	・最近のポイントセールをしても客単価は上昇しない。客の財布のひもはますます固くなっている。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・来客数の減少と客単価の低下により、総体の売上も減少している。
		自動車備品販売店（従業員）	販売量の動き	・買上客数の減少、特にリピーター客の減少や若年層の購買力の低下が目立つ。また、大型高額商品の販売量の減少、新製品の販売不振も顕著である。 ・週末の来客数が減少している。また、買い物意欲の低下がみられ、来店しても商品を購入せずに帰る客が増えている。 ・売上拡大のため梅雨商品、夏物商品を早めに陳列しても、客は急いで購入せず、不要商品は買わないという姿勢がみえる。
		高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・ゴールデンウィーク中の来客数は前年並みで推移していたが、連休明けは厳しい状況が続いている。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・ゴールデンウィークが入る5月は予想よりもやや悪い。中小メーカーの来客数が極端に減っており、客の顔色もさえない。 ・大手メーカーの経営者からは「景気は底を打ったといわれるが、果たして本物かどうか樂觀できない」という声がある。また、生命保険会社のセールスマンからは「個人客の保険の解約や見直しが増えます多くなっている」との話も聞く。業種や企業による好不況の格差が非常に大きくなっている感じがする。
		都市型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・宿泊部門では単価の低下が続き、厳しい状況である。また、レストラン部門では接待など高額物件の大幅な減少により単価が低下しているが、部門総体としてはやや下げ止まり感がみられる。
旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・売上が前年比で15%減少している。		
タクシー運転手	来客数の動き	・地元では流しのタクシーの利用がほとんどなく、客の電話による依頼が中心であるが、この電話件数は平成12年度から毎年5～10%減少している。		
	悪くなっている			
	良くなっている	-	-	-
企業動向関連	やや良くなっている	食料品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・販売価格に下げ止まり感があり、一部では回復している品目も出始めている。
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・取引先が先行きについて若干の不安感を持っているため成約には至っていないが、3か月前並びに前月に比べて、引き合い件数が30～50%増加している。
		金融業（融資担当）	受注価格や販売価格の動き	・取引先に対して貸出金利を適正水準で要求できるような環境になりつつある。
	変わらない	化学工業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・全国各地でドラッグストアが、生き残りをかけて業務提携や合併などを続けているため、企業数や店舗数の増加傾向に歯止めがかかり始めている。店頭価格も極端な安値品が消えつつあり、単価の下落傾向にも下げ止まり感がみられる。
		プラスチック製品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・受注量のロットが更に小さくなっている。
		金属製品製造業（経理担当）	受注価格や販売価格の動き	・親会社から更に価格引下げの要請がある。
		電気機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・3月、4月はやや景気上向きとみられる受注量を確保したが、5月に入って若干足踏み状態となっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		精密機械器具製造業（経営者）	競争相手の様子	・先行きに少し明るさがみえるマインドが各企業から感じ取れるが、実際の受注量、生産量、売上に変化はない。
		輸送業（配車担当）	受注量や販売量の動き	・受注量も価格も変化せず、全体に横ばい傾向である。
		通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・公共関連の受注は前月と同様に好調で、また地元でIT化を進める動きが更に強くなっている。また、民需は大型案件も含めてそれなりに動いている。
	やや悪くなっている	輸送業（配車担当）	取引先の様子	・5月の前半は通常月程度の物流があったが、後半は全く荷物が動かず、月末になっても変わらない。
	悪くなっている	建設業（経営者）	競争相手の様子	・同業他社から下請仕事を回してほしいという要望がはっきりなしにあるが、当社も手持ち工事が全く足りず、苦しい状況である。業界全般に建設の保有工事が少ない。
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	-	-	-
	変わらない	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・例年のパターンであるが、4月に続き5月も求人数が増加していない。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・求人広告の状況は前年同月の8割前後で推移している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人に下げ止まりの傾向が顕著に表れてきている。減少する一方だった製造業のうち、出版、印刷など一部の業種では前年に比べて増加している。
		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・求職者数は依然増加しているが、求人数に大きな変化はない。
	やや悪くなっている	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・ハローワークへの来所者数は増加傾向にある。
悪くなっている	-	-	-	